

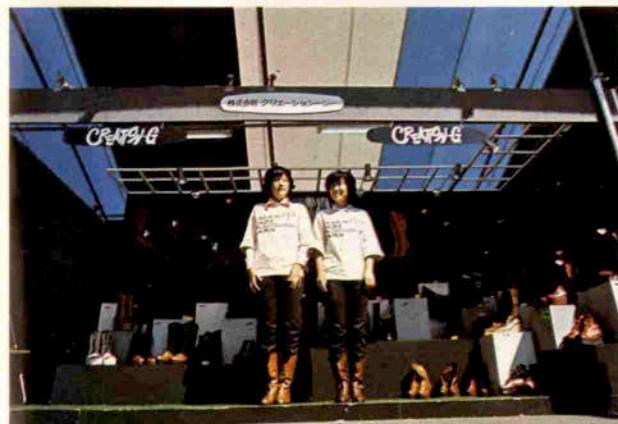
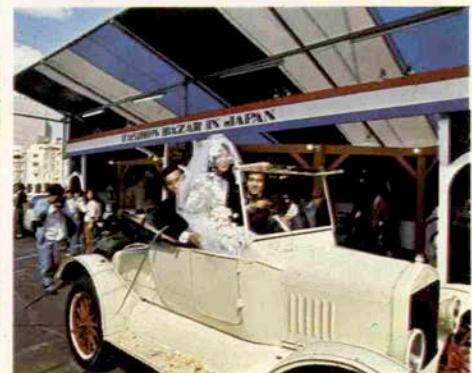
R'74

# 第1回FASHION BAZAR in JAPAN 開く

●ファッションバザールインジャパン東遊園地で



さわやかな秋空に赤トンボが飛び交う東遊園地。  
10月5日／10日までの6日間「神戸ファッションフェア  
74の第1回ファッションバザールインジャパン」が開かれ、延べ50万近い人々がこの神戸らしい秋まつりを楽しんだ。赤白、青のシンボル三色旗がフラワー・ロードから中山手通りアロード、元町通にひるがえり、東遊園地のファッションストリートには三色テントの下に色々なファッションのお店が軒を並べ神戸っ子の人気集中。



ファッションメイツ。かーわゆい。ワタシは私。これぞ神戸っ子。

ウェディングマーチ高らかに、お尻にしかれてもいいんです。

KOBE FASHION FAIR

# 秋うらら

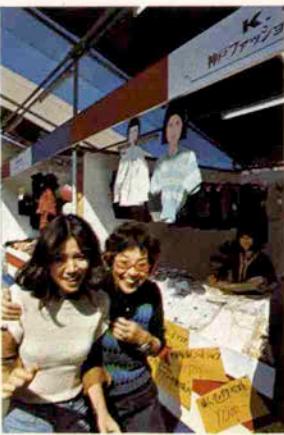


「お熱いのがお好き」だから頑張っちゃうのボク。



スポーツゴコロはイキイキゴコロ。みんないっしょにあそびましょ。

(主催) ファッションバザール運営委員会  
神戸新聞社  
(後援) 神戸市、神戸商工会議所、KFA  
(サントレービ)  
(企画) 関西アドブレーン



ハイこんにちは、私が売ってます。



フラワー&ニット。ゆれるドレスはフラワーがテーマ。



## New life lady in Kobe

『道成寺』のお稽古に一生懸命なのです

### 井上 慶子さん

〈三菱重工株〉井上 寛氏長女・甲南大学

彼女自身は、「ほんとうはにぎやかな女の子デス」といい、ふだんはもっぱらジーパン姿で活動的な現代っ子だそうだが、6才の頃から続いている日本舞踊のせいいか和服姿がよく似合っていて、とても日本のもの静かな女性のようである。今年の春に名取りとなり花柳若美都の名を頂いた。

大学では、歌舞伎文楽研究部に所属していて、実際に歌舞伎を演じているが、日本舞踊が大いに役に立っている。

日本女性は、和服姿の似合う大和撫子が一番です。

コトブキのある街は、みんな神戸のとなり街。



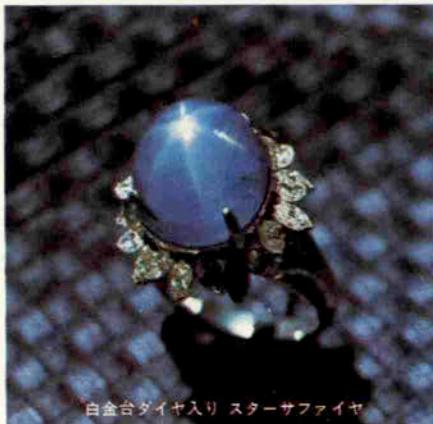
お菓子の  コトブキ

自宅練習場で





FANTASY KOBE 11月



白金台ダイヤ入り スターサファイア

宝飾店  
*Tajima*  
タジマ

元町 2 丁目 TEL 331-5761 代表

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に  
応じておりますのでお気軽にご利用下さい。  
定休日は水曜日です。

*Thoughtful  
gentleman*

文明開化の  
足音がきこえそう

野澤 太一郎さん

〈株式会社 ノザワ取締役社長〉

重い扉に磨かれた暖炉。よく  
手入れされたこの異人館は百年  
もの昔からこの神戸に生きてい  
る。

あるじ  
こここの主人はジャズを愛し、  
スポーツに親しむ野澤さん。

神戸らしい風景にいかにも神  
戸っ子らしい野澤氏のくみあわ  
せ、スマートですね。

カメラ／米田 定蔵

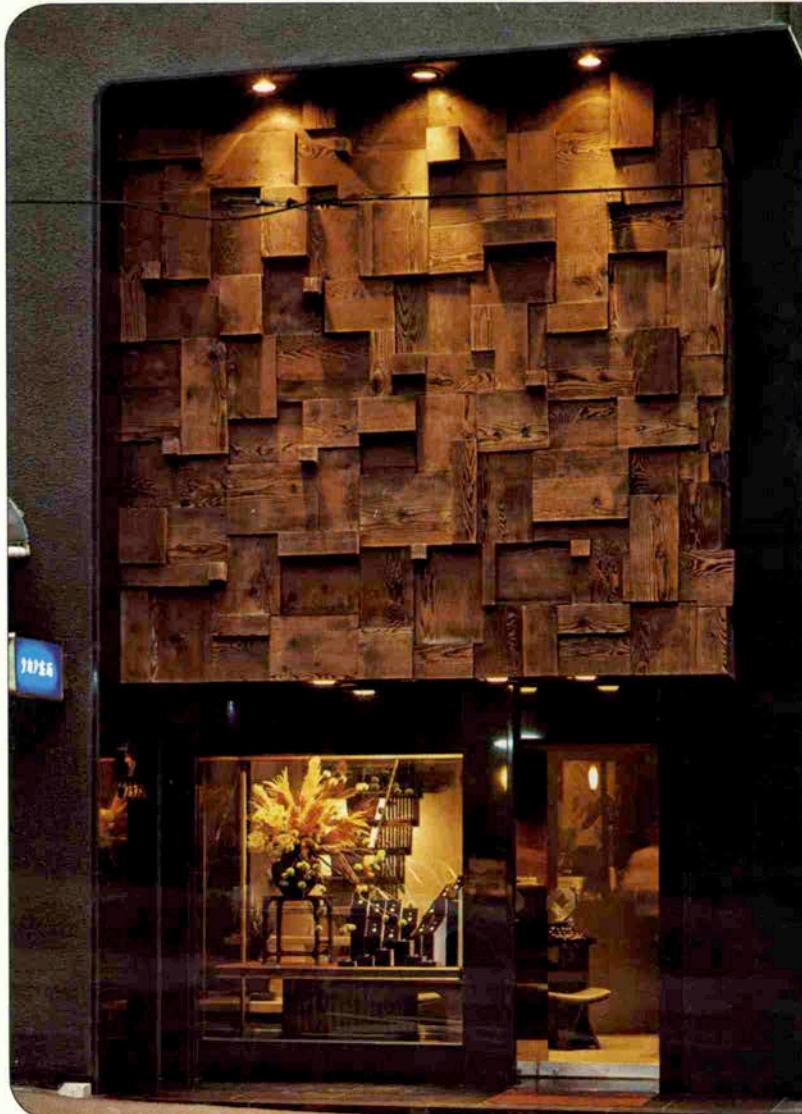
世界のオシャレをおとどけする

ウ  
ノ

神戸元町1丁目 TEL 331-3112

東急百貨店 渋谷店・日本橋店  
札幌店・吉祥寺店





花のある宝石店



P.M.ブルーサファイア ダイヤリング



トア・ロード

タカタ宝石

〒650

神戸市生田区北長狭通2-161-1

tel 078・391・4105

☆タカタ宝石生花シリーズ

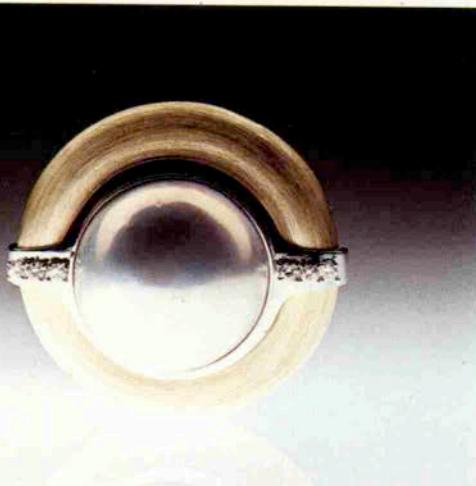
華麗なブラン  
川口豊昇 小原流家元教授

◎本社●神戸市兵庫区旗塚通6—3—10 TEL.231—3321◎本社外商部●神戸市兵庫区旗塚通7—1—7旗塚ビル TEL.231—3321◎パールファーム神戸  
●神戸市灘区鶴甲3—12—41 TEL.871—9289◎さんプラザ店●神戸さんプラザビル3F TEL.391—4085◎大阪支店●大阪市南区安堂寺橋通3—38—2  
南大和ビル TEL.253—0165◎大阪プラザ店●大阪ホテルプラザ内 TEL.458—2449◎福岡支店●福岡市中央区赤坂1—11—13大稲ビル TEL.781—5161  
●カタログご希望の方は本社外商部までご請求下さい。◎ あなたの真珠はパールマークのお店で

ご愛顧20年 田崎真珠



半円真珠マベの輝かしい物語はこれから始まる。  
宝石芸術が確立したいま、半円真珠のその大きさ、  
ダイナミックな盛り上り、虹色の強い光沢は  
絶好の素材であろうから。マベの、乾いた宇宙  
的な物語の幕が、上がる。田崎真珠 TASAKI PEARLS



マベ真珠のブローチK14ダイヤモンド￥250,000

# ★11月号目次

205

これは神戸を愛する人々の雑誌です  
あなたの暮らしに楽しい夢をおくる  
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ  
これは神戸っ子の手帖です

表紙／小磯良平（部分）

セカンドカバー／旅のスケッチ 111／西村 功

- 7 神戸っ子 '74／原 明美／中原武志
- 11 ある集い／金曜日の集合
- 13 コウベスナップ
- 14 神戸っ子ギャラリー 111／河口龍夫
- 16 ファッションバザール カラー・アルバム
- 25 わたしの意見／横井和子
- 27 隨想三題／須永克彦／藤井公子／上西良一
- 30 ある集いその足あと／金曜日の集合
- 32 神戸情話 5／矢崎泰久
- 34 隨想特集 東京↔神戸／淀川長治／高島忠夫／秦砂丘子／小曾根 実／武田繁太郎
- 45 ルボ・FASHION BAZAR IN JAPAN
- 53 都市環境へのアプローチ／赤根和生
- 59 今月の催しものご案内
- 60 川西 英回顧展
- 62 僕の麦畑／乾 太
- 64 いんたびゅう／辰巳柳太郎
- 67 経済ポケットジャーナル
- 68 技術ジャーナル／諸岡博熊
- 70 神戸の集いから
- 74 神戸百景／カメラ・小山 保
- 80 ファッションアイ／カメラ・藤原保之
- 100 たかはし・もうをめぐる神戸っ子たち
- 104 生田の森観月記／三沢玲蘭
- 108 神戸のアーバンデザインモダンリビング／水谷頼介
- 110 神戸を福祉の町に／橋本 明
- 112 こころに残る OLD KOBE／あおば しげる
- 114 奇術師アフリカを行く／福岡康年
- 116 動物園飼育日記／亀井一成
- 121 アンデル線／岡田 淳
- 124 ニューヨークからのたより／竹田洋太郎
- 126 淀長立見席／淀川長治
- 128 女体百景／H・ジュニア
- 130 びっといん
- 133 神戸百店会だより
- 134 ポケットジャーナル
- 139 連載小説 まだ遅くない／葉月一郎／え・小西保文
- 156 ポエム ドコウベ／鈴木 漢
- 158 海 船 港／キャンベラ号地中海をゆく

カメラ／米田定蔵／藤原保之／立山 章  
目次作品／植松奎二

# いかが すごし 深い秋

ずらり コートさんたち



いま  
いつかの風景  
*Autumn-Winter Fashion*

東京・銀座  
*San-ai* 三愛  
三宮店 センター街さんプラザビル2・3F  
AM11:00～PM8:00 ☎391-6861

### ★わたしの意見

## 生活のなかに

### 音楽を

横井 和子

（ピアニスト・神戸市文化賞受賞者）



このたび身に余る光栄に浴し神戸市には立派な業績をお持ちの方々が多く居られると思われるのに勿体ない事で、今日迄お教えを受けた先生方をはじめ私をお支え下さった皆様に対し心から感謝を申上げたい気持で一杯である。両親を失つた十二歳の年から祖母と弟と三人ではじめて神戸に住みついでから永年の間人生のよろこびも悲しみも味わいながらひたすら音楽とともに歩んできた私は、海と山に囲まれた美しい神戸の自然と雰囲気にどれだけ慰められ幸せだっだと思うにつけてもこの度の受賞はこの上ないよろこびである。

昔をふり返ると昨今の音楽の水準の向上は自覚ましく殊にピアノはコンクールや音楽大学の入学試験に於ても競争がはげしくなる一方であるが、その結果最も大切な音楽性が見失われないように心しくなくてはならない事を痛感させられている。住宅事情にもよる事と思われるが家族揃つてピアノを聞んで音楽を楽しむよりも前に、身も心も無理な状態のまま音楽と結びつかないピアノのおけいこがはじまる場合が多いのではないかと案ぜられてならない。

勿論、正しい基礎訓練は幼ない頃から習慣づけられなければならないが、あらゆる面でのびのびと成長しながら生活の中に音楽が自然にとけ込んで行つた時に、本人の適性や能力に応じて専門的な進路が開かれるべきではないかと考えている。

音楽を趣味としていて時に専門のコースに進み大成する場合が少くないのは周囲からわくにはめられた状態でなくかえって音楽の本質を擱んでいるからであろう。ピアノは練習に可なり時間をする上に練習中の音は防音の設備とか御近所との間の打合せをする様な心遣いを忘れてはならないと思う。と言う私は恵まれた環境で彈かせて頂いているが永年の間迷惑をおかけした方々にこの機会に御詫と御礼を申上げさせて頂きたい。受賞にお報いするには微力な私であるが人の心を豊かにする音楽のためにこれからも努力を続けたいと願つてゐる。

# オリエンタルホテルへどうぞ。

11/1 ワイン フェスティバル  
↓  
12/30 サントリー・メルシャン・マンズ  
地階グリル、11階スカイレストラン

11/1 オリエンタルホテル グルメ  
↓  
'75 食通の方のお食事券  
1/31 地階グリル 5,000円(税込)  
スカイレストラン 8,000円(税込)

12月22日(日)

ちびっこ クリスマス  
アルプスの少女ハイジショー

12月23日(月)

オリエンタル クリスマス  
グランドパーティ'74 由紀さおりショー

◆〈料理教室・茶道教室〉募集中



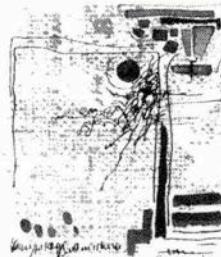
## オリエンタルホテル

TEL. 331-8111

## 六甲オリエンタルホテル

TEL. 891-0333

## 隨想三題



燃えて  
いるのか

須永  
克彦

（劇団道化座）

てみても、遅きに失した感がある。というのも三年間続けた今、葉書一本でドットとまではいかなくとも、初日よりお越しいただき2回3回と、同じ演目をご覧になる方も多い。そのお客様に何とどうか。まことにおそれ多いことだ。演劇とは観客なしで成立しない。まさにしかりである。では現在、自分自身はどうか。これは問題です。それが本物か偽物かの区別もつかぬ多様な演劇と呼ばれるものの中では、とにかく、演ることでしか考えられない、止まることが出来ない、お前はナゼ演劇をやつしているのか、と聞かれても、そうですね、そこに山があるから、演みたいなもんとちがいますか、演っていることでやつと、生きているみたいな気がするんですね。では観客のことはどう考えているのか。そんなん知らん、と言いたい氣もするが、そうもいえんし、観

戸でも、演劇を演りたい人は多勢いる。が、ここ五・六年の傾向では、演劇を卒業した積りで、よし次や、と辞めていくのが、首をつっここんでまあ三年。これには全く対策なし。まあ、それも仕方ないかも知れません。この仕事では、まず食べられません。TVの仕出し「寡黙の人」をひと月やつても五万円はとうてい無理。ましてや採算無視のわが道化座。統くはずがないかも知れぬ。

しかし、一般会社の初任給、チト高すぎやしませんか、甘やかしすぎでは。能力について再評価を

現在、道化座のいえノイエ公演「熱海殺人事件」「くわえ煙草伝兵衛の幻想」つかこうへい氏の作で毎週土・日上演している。早いもので、いえノイエも3年たつた。ここで私たちが試みようとしたものは、演劇の中での小劇場運動とかいう大それたものではなく実に、実に沈滯していた自分自身を、奮いたたせ、燃えたたせることにあつたのですと、今更告白し



道化座のいえノイエで熱演中

ることによつてあなた自身の向上にお役立て下さい、やなんてね。

とともに。まあ、類は類をもつて集まる一つ穴のムジナといふことですか。そのムジナがもうちょっと数が多なつたら、よけええんんですけど。

願いたいものです。これとは逆に我々は、チト安すぎやしませんか厳しすぎるのでは。能力について再評価願いたいのです。グチになりました。が、こういう風に、尻の座らないのを新陳代謝といふにしても、少し回転率が早やすぎるのではありませんか。石の上に坐つてこちらもその気になつて、じや私たちもサヨウナラとはならぬがいやあ、確かに疲れます。

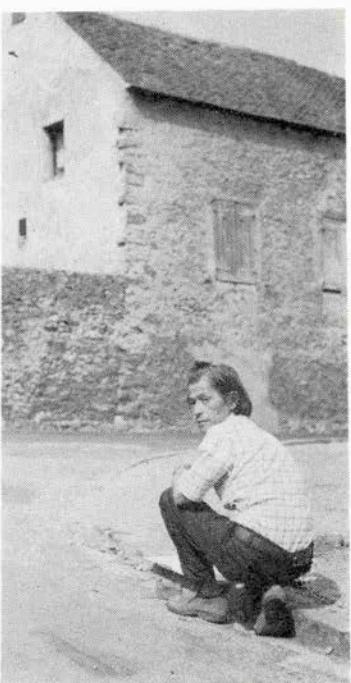
“燃えているのか、燃えているのか”と他人に投げかけるその前に、まず、自分自身に、高い石油でもブッカケて、たとえマッチが湿ついて火をつけねばなりませんまい。ただし、燃えつきて灰にならない程度に、タネ火をきらさず、燃えつづけたいものです。ホントに。

## 日本脱出しと 自选展

上西 良一

(二紀会同)

私が若い頃聞いた話のなかで、昔画家が外国へ行くことを、留学とか洋行とかといつてゐた。帰つてくれれば新聞に記事が大きく載つた。そして、いちはやく有名になり洋行帰りの画家として絵も売れ



ヨーロッパを旅行中の筆者

たそうだ。またある画家は当時横浜港から神戸港そしてマルセイユまで船旅をしたのだが、神戸港で下船、街でヨーロッパの絵葉書を買い求め、それを見て絵を描き、暫らくして帰京、さも渡欧してさうにして絵を売つていた画家がいた話を聞いた。今は誰でも渡欧し、めずらしくなくなつた。今度、私の仕事の上で、厚い壁にぶつかり悩みあげんだあげく、日本脱出を思ひたつた。日本以外の風土を知り、人間を知り、わずかではあつたが味わつてきた。これからは仕事の結果が現われてくる、どのように変化するかは、楽しみであり心配だ。今まで画集や、写真でのみしか知らなかつたヨーロッパを見てき、何かを得てきた。

良い仕事を残したいもんだ。

絵を描き始めて40年になる。一度過去の作品から現在の絵を一堂に列べた展示をしてみたいと願つ

藤音会！

ワンドフル

共に、酒と共に生きてきた。  
私はまだ若い、うんと頑張つて一生絵を描き続けてゆく。

門下生の集いを「藤音会」と名づけて、毎年一回の研究発表会を持ちつつ今年で二十五回を迎えた。生徒のかねてからの希望により、記念の会「日本歌曲とオペラハイライトの夕べ」を九月七日文化ホールで無事終えたところ。

「日本歌曲」これは私のライフワークであり、藤音会の特色、毎年何らかの形でプログラムに入れてくれる。問題はオペラハイライトである。それは紛れアクト村でやるとなれば、舞台装置、衣裳など派手なものを見なれている昨今、わずかの経費で果たしてどれくらいのことができるだろうか？豪華なグランドオペラの場面を夢見てる生徒、どんなものになるのだろうかと想像できない生徒。私は彼女たちに「あくまでも地道に勉強本位に……」と話し、私のやろうとするオペラハイライトのアウトランインを事細く説明した。

（有名なオペラの中から独唱、重唱、合唱の名場面を抜き出し適当につなぎ合わせたバラエティにとんだもの。アンサンブルの面白味を強調した。）

七月中旬頃から立稽古に入つたが、サア大変！手も出なければ足も出ない。顔の表情なんてとても、とても、演奏時間十分と十五分のものに一時間半くらいかかる



神戸文化ホールで熱唱中の筆者

た。振付だけでなく、舞台装置、照明のこととも考えねばならない。

私は心身ともに疲れ果てた。が、私を元気にしてくれたのは、生徒の熱意だった。この生徒たちの努力に報いるために、できるだけ生徒の期待にそえるよう、美しい夢のある会にしたいと、いろいろ考え、アチコチ奔走した。幸いなことに、舞台装置、衣裳の大半はY先生のご厚意に甘えその他の道具は我家から運ぶことに決め、照明はその道のベテランO氏にお願いすることができた。お蔭様で当日は生徒も満足お客様からも大好評で楽しんでいただけの会になつたことを喜んでいる。（オペラ全曲より今日のは次々と変化もあり、退屈しなくてよい……高校生談）

私は多くのよい生徒に恵まれて幸せです。私を信じ私についてきてくださった生徒に感謝しています。

最後にもう一つ「先生はお若いとした日々を、今彼女たちは懐しく思い出していることでしょう。

情熱を燃焼しつくしたあの充実した日々を、今彼女たちは懐しく思い出していることでしょう。

最後にもう一つ「先生はお若いですね。グッと胸に迫るすばらしい歌でしたヨ」と、このほめ言葉に私は弱い。また身を粉にしてがんばるでしょう。

個性を尊重しつつ調和の美を求める音楽！人間関係におきましてもかくありたいものとねがいつ……。

□ある集いその足あと

## 金曜日の集合

章本 明乎

（金曜日の集合メンバー）



「第2回金曜日の集合展」白山画廊にて

白い紙と鉛筆一本。「すきな線を描いて下さい」ということで何枚かは描けるが、どこかで見たような線ばかり。手が動かなくなりてもあましていると、路上に落ちるような何の変てつもない石ころを机の上に置き、「この石の線を描いて下さい」。教われたような気持で一心に石のシワのような線をたどる。頭で考えた時には考えおぼばなかつた線がそこには、あるわ、あるわ。しばしろいろな石の面の線を紙に写しとる。

「きれいきれい」と元永定正先生はいわれる。このようにして現代美術の抽象絵画への入門は始まる。絵を描くのが初めての人でも何

となくできてしまいそうだ。むしろ何も知らない人が素直に描けるかもしれない。「アホになれ」「考えすぎ」といくどとなくいわれる。手を動かそうと思えば考えないと動かないのに一と大変とまどつたものだ。一度決めると作業中は無心というか、アホになつて最後までやつてみる。やり終えてから、良いのかどうか考えてみる。私の場合これは抽象絵画のみにとどまらず、仕事に、また人生観にも影響をおよぼしている。一事が万事で、先生はたいした事ではないようないわれるがその内容はいつも重要なものをはらんでいる。

古参のペテランも多くいる。

「ベニスビエンナーレ」版画部門に招待出品された新婚のO夫人。また「ジャパンアートフェスティバル」にはN女、O夫人ともども二回入選。「現代国際青年美術展」はT女史とT娘が入選。「現代美術展」はN夫人とO女史がそれぞれ二回入選。毎年の「芦屋市展」「宝塚市展」には多くの受賞者を出している。輝かしい活躍ぶりである。しかしみんな女性である事が男性である私の自信をぐらつかせる。先生の美男子が故に女性をハッスルさせるのかな？

会員の大半が女性だからといって、おかげでこのとくのやうな雰囲気

はもちろんない。そこには男女の区別はなく、あるのは美と真実だろうか。だれでも間違った事をいえば容赦なく攻撃の言葉が飛んでくる。自身が考へて解らない時は問題を提起する時もある。その時は真剣にその事について考へ談ずる—それぞれが真実だと考へたことを。口角泡をとばして自分の意見を守るが頭の中では、どれが真実でどれが間違っているのか、と忙しくかけめぐつていることだろう。そのようなキンチヨウした空気がすぎ去ると、そろそろウィスキーがほどよくまわってくる。火事場の金時のような赤い顔、全然変わらない顔、口数がやたらと多くなるもの、うなずいてばかりいるもの……と第二の顔の発見である。こうしてウイスキーをのみながら談ずるのも師のすすめるところである。というのは、何よりも「リラックス」を重要視するからである。人間にはリラックスした時に本当の素晴しさがひそんでいるようである。そのためか師はすんで駄ジヤレをとばされる。そして真先にご自身が本当にうれしそうに笑われる。もう夜も更けてきた。帰るとしようか。さようなら、また次の金曜日に。

■金曜日の集合連絡先  
宝塚市切畠長尾山2番7号  
元永定正内

本格派のための味と雰囲気………



31 レストラン 神戸  
ナイトクラブ 神戸 北野 クラブ 神戸市生田区北野町1-64  
☎ 231-2251

レストラン 神戸 ブラン ドゥ ブラン 神戸市生田区京町77-1 神栄ビル  
☎ 321-1455

レストラン 東京 ストックホルム 東京都港区六本木6-11-9  
スウェーデンセンター ☎ 403-9046